

名家連ニュース

平成29年9月22日(金)
 発行：特定非営利活動法人
 名古屋市精神障害者家族会連合会
 会長 堀田 明
 TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 483号

名古屋市精神保健福祉センター通信(こころば21号)より

わが国の精神科病院には、地域の受け皿が整わないことから地域から孤立し入院生活を余儀なくされている入院患者(いわゆる「社会的入院者」)が存在し、その方たちの退院・社会復帰が課題となっています。平成16年9月の「精神保健福祉施策の改革ビジョン」以来、「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念のもと、国は施策を進めてきました。名古屋市においても「障害福祉計画」により社会的入院者の解消のため数値目標を掲げ、課題に取り組んできました。

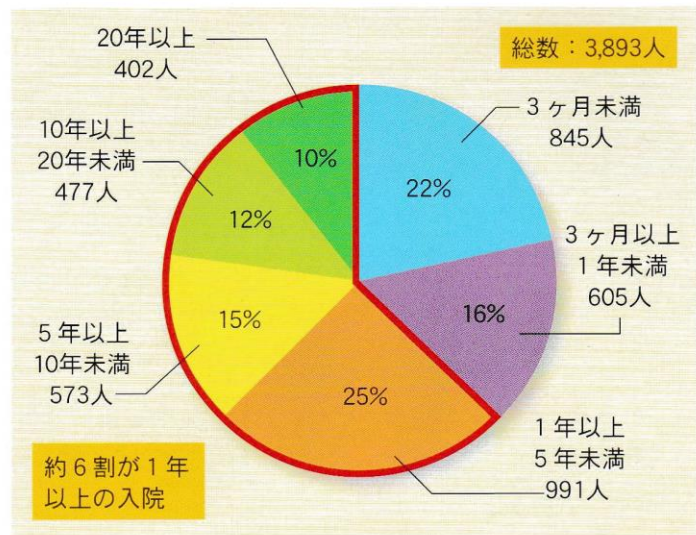
◆名古屋市における精神科医療の現状

【表1】精神科医療の現状(平成28年度)

精神科病院数	16病院
精神科病床数	4,567床
1日平均在院患者数	3,918人
精神科病床利用率	80.8%
平均在院日数	243.1日

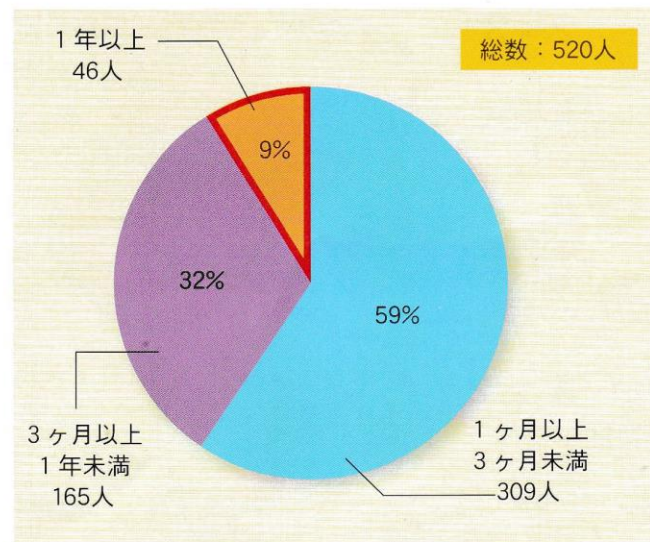
(名古屋における精神保健福祉-資料集-)

【表2】入院期間別在院患者数(平成28年6月30日現在)



(平成28年度精神保健福祉資料 630調査)

【表3】平成27年6月の1ヶ月間に入院した患者の退院状況(平成28年6月30日現在)



(平成28年度精神保健福祉資料 630調査)

名古屋市内に精神科病床を有する精神科病院は16病院あり、1日平均在院患者数は3,918人となっています。また平均在院日数は243.1日となっています(表1)。入院期間別在院患者数を見ると、**全体の在院患者数の約6割以上が1年以上の長期入院となっています**(表2)。平成27年6月の1ヶ月間に入院した患者の退院状況から、入院から1年以内には9割の方が退院している一方、**1割弱は1年を超える長期入院(ニューロングステイ)になっていることがわかります**(表3)。